

令和5年度 第16回県高等学校弓道遠的大会 要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟弓道専門部
- 2 開催日 令和5年6月24日(土) 男女団体予選決勝
- 3 日程 監督会議 8:30～・受付(選手1名+顧問) 9:00～・開会式 9:20～
 *参加校は8時45分に集合し準備にあたる。係職員・当番校の割り当ては、当日受付にて発表する。
 *参加校すべてに係職員を割り当てる。監督が介添えに入れないことが考えられるので介添え生徒を確保する。
 弓を引いた選手3人が仕事をするので、3人以下のチームは仕事ができるように選手以外の生徒を確保する。
- 4 会場 A L S O K ぐんま武道館弓道場(遠) 前橋市関根町800番地 電話027-234-1200
- 5 競技種目 遠的競技 的中制 直径100cm霰的
- 6 競技種別 男子の部・女子の部
- 7 競技種類 団体戦…男女とも各校1チーム以内(正選手3名=ゼッケン1～3・補欠1名=ゼッケン4)
 個人戦…実施しない
- 8 競技規定 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・競技運営細則による。
- 9 競技方法 3人立 2射場 立射
 *矢の種類は問わない-近的矢・遠的矢どちらでもよい。高体連弓道専門部所有遠的矢の貸し出しはしない。
 団体戦 予選1・2回戦…1チーム24射(各自8射)を行い男女上位6校を通過とする。
 *決勝に進出できるのは各学校1チームとし、1校で2チーム通過の場合は的中上位が決勝に進む。
 団体戦 決勝1・2回戦…1チーム24射(各自8射)を行い予選の成績と合計し順位を決める。
 *選手の交代は2回認める。第3控に入るまでに所定の用紙に記入し、監督が本部に届け出ること。
 *時間制限をおこなう。(5分30秒で予鈴、6分で本鈴、ベルと同時に発射は失格)
 個人戦 実施しない
- 10 競技順序 ①団体予選1回戦 ⑥団体順位決定競射
 ②団体予選2回戦 ⑦閉会式・表彰式
 ③団体決勝進出6校が決定しない場合の競射 ⑧団体の代表校監督会議
 ④団体決勝1回戦 ⑨矢留の網や屋根に刺さった矢をまとめて抜く
 ⑤団体決勝2回戦
- 11 引率監督 団体戦の引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(公立学校にあつては教員とする。)
 個人戦の引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。(公立学校にあつては教員とする。)
 校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
 →「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、事前に県高体連会長に届け出る。
 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 12 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
 大会申込までに高体連弓道競技専門部に登録した生徒であること。
 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
- 13 表彰 男女ともに 団体1位 賞状・楯・黒岩杯(持ち回り)
 団体2～3位 賞状・楯
 団体4～6位 賞状(5～6位は専門部の賞状)
 *昨年度団体優勝校「男・伊工」「女・共愛」は黒岩杯の返還をする。
- 14 代表権 男女ともに**団体1～2位**のチームに代表権が与えられる。
 全国大会辞退があつた場合は代表権を次の順位の学校に繰り下げる。
 関東ブロック推薦枠により代表権が増えることもある。
 申込時に団体が既定の人数(3人立2人以上)を満たさない時は、上位大会団体代表権は認めない。
 *上位大会への代表権が認められなくても表彰、参加料などにおいては団体扱いとする。
 *第2回紫灘旗全国高校遠的弓道大会
 令和5年8月19日(土)～8月20日(日) 於・久留米アリーナ
- 15 参加料 男女ともに1校2,000円(当日受付に払込むこと)
- 16 申込方法 申込ファイルに入力の上、6月15日(木)16:00(期限厳守)必着で下記宛メールする。
 申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp
- 17 プロ編成 6月20日(火)13:30より**渋川青翠高校**にて実施する。
- 18 注意事項 ①プログラムに記載された番号のゼッケンを右腰に付けること。
 ②引率責任者不在の場合は選手の参加は認めない。
 ③顧問の昼食については、大会申込ファイルで事前に申し込みをする。
 ④弓具には記名しておくことが望ましい。(忘れ物があつた時は忘れ物コーナーに置いておく)
 ⑤蹠の紐は小さく結ぶ。妻手の留め具や紐幅が広い押手蹠、小指付根押手蹠、ゴム底足袋の使用は禁止する。
 ⑥追い越し発射は追い越した矢を無効とする。
 ⑦進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。
 (制限時間がない個人戦、計時が参考となる団体戦は最後の射手が足踏みを閉じたら号令をかける)
 ⑧介添えは監督または各校生徒とし、替矢・替弦は介添えが持って入場する。
 弦切れの場合は介添えが弦を張る。弦が張れない場合は進行に申し出る。
 競射で替矢を使用する際は、介添えが矢を選手の正面から渡す。渡す際に指示・激励に類する行為はしない。
 的中の疑義は介添えが矢を抜かないうちに行う。
 介添えが付けられない場合、選手は替矢・替弦を招集係に渡す。
 ⑨服装、応援などについては顧問会議の取り決めに従うものとする。
 ⑩第3控後ろの通路での応援や選手への指導は禁止する。観客席では私語は慎むこと。
 ⑪貴重品の管理は各自で行うこと。
 ⑫会場での飲食等でたごみは必ず持ち帰ること。
 ⑬大会当番は準備・仕事・片付けを行い、片付け終了後は大会委員長または大会副委員長に報告をする。
 ◎大会申込書の提出で、学校名・学年・氏名の個人情報の取り扱いについて、承諾を得たものとする。
 大会プログラム・事務連絡文書の記載と、大会プログラム・結果のWebページへの掲載に使用する。
 ※Web公開する大会プログラムにはパスワードを設定し関係者以外は見られないようにする。